

製品安全データシート

作成日 2025年4月25日

1. 化学品及び会社情報

製品名 2-エチル-1-ヘキサノール

供給者の会社名称 アーク株式会社

住所 大阪市中央区安土町3-5-13 本町ガーデンシティテラス3階

電話番号 06-6563-7710

FAX 番号 06-6563-7720

推奨用途及び使用上の制限 可塑剤(DOP、DOA)、合成潤滑剤、界面活性剤等の中間原料、香料

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253:2019 使用

物理化学的危険性 引火性液体 区分4

健康に対する有害性 急性毒性(経皮) 区分2

皮膚腐食性/刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A

生殖毒性 区分2

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器)

区分3(麻醉作用)

環境に対する有害性 水性環境有害性 短期(急性)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 可燃性液体

皮膚に接触すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

呼吸器への刺激の恐れ

眠気またはめまいのおそれ

水生生物に毒性

注意書き

[安全対策] 使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

炎および高温のものから遠ざけること。禁煙。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護面を着用すること。

[応急措置] 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

火災の場合、消火するために粉末、乾燥砂、泡を使用すること。

[保管] 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。施錠して保管すること。

[廃棄] 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名 2-エチルー1-ヘキサノール

別名 オクタノール

化学式 C₈H₁₈O

濃度又は濃度範囲 >99.0%

CAS 番号 104-76-7

官報公示整理番号 化審法：(2)-217、 安衛法：公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末、泡、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 水
火災時の特有の危険有害性 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。 引火性の高い液体及び蒸気。
特有の消火方法 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
個人用保護具を着用する。
漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
環境中に放出してはならない。
回収 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 後で廃棄処理する。
少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。
付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

粉塵が飛散しないように注意する。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項 粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

安全取扱注意事項 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。

眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触、吸入、飲み込みをしてはならない。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

接触回避 高温物、スパーク、火気を避け、酸化性物質、有機過酸化物との接触を避ける。

保管

適切な保管条件 容器を密栓して冷暗所に保管する。

不活性ガスを充填する。

湿気を避ける。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

避けるべき保管条件 加熱、直射日光

安全な容器包装材料 法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 日本産業衛生学会(TWA) 1ppm

保護具

呼吸用保護具 防塵マスク、簡易防塵マスク等。

手の保護具 保護手袋。

眼、顔面の保護具 保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具 保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 固体

形状 透明

色 無色

臭い 特異臭

融点/凝固点 情報なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲 187℃

可燃性 情報なし

引火点 78℃

自然発火点 288℃

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 下限：0.9%、上限：9.7%

pH 情報なし

動粘性率 情報なし

蒸気圧 48Pa/20℃

溶解度 [水] 易溶

[その他の溶剤] 可溶：エーテル、アルコール

オクタノール/水分配係数 情報なし

密度及び/又は相対密度(g/ml) 0.83

相対ガス密度 4.5

粒子特性 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし

化学的安定性 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件 裸火

混触危険物質 酸化剤

危険有害な分解生成物 二酸化炭素、一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 orl-rat LD50 : 3730 mg/kg

ipr-rat LD50 : 500 mg/kg

orl-mus LD50 : 2500 mg/kg

skn-rbt LD50 : 1970 mg/kg-13D preg)

皮膚腐食性/刺激性 skn-rbt 415 mg open MLD

Skn-rbt 500 mg/24H MOD

眼に対する重篤な損傷性/刺激性 eye-rbt 20 mg SEV

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 IARC = 情報なし

NTP = 情報なし

生殖毒性 orl-rat TDLo : 1628 mg/kg (12D preg)

orl-mus TDLo : 12200 mg/kg (6-13D preg)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 本物質は、ヒトの職業暴露において頭痛、眩暈、疲労感、腸障害、軽度の血圧低下を起すと報告されている (PATY (6th, 2012))。動物試験ではマウス、ラット、モルモットの単回吸入投与試験 (1.8 mg/L/4 時間、ミスト (6h、227ppm 暴露の換算)) で、肺出血及び回復性の中樞神経抑制及び眼、鼻、喉及び呼吸経路の粘膜の刺激が認められた (JECFA FAS32 (1993)、DFGOT vol.20 (2003)) との報告に基づき区分 2 (呼吸器)、区分 3 (麻酔作用、気道刺激性) とした。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 情報なし

誤えん有害性 情報なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性

魚類 96h LC50 : 10 mg/L (Lepomis macrochirus)

甲殻類 24h LC50 : 19 mg/L (Artemia salina)

藻類 24h EC50 : 130 mg/L (Chlorococcales)

残留性・分解性 79.0-99.9% (by BOD)、100%(by TOC)、100%(by GC)

生体蓄積性 (BCF) 13

土壤中の移動性

オクタノール/水分配係数 情報なし

土壌吸着係数 (Koc) 105

ヘリ定数 (PaM 3/mol) 2.68

オゾン層への有害性 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及び

スクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号 該当なし。

国連分類 国連の分類基準に該当せず。

輸送の特定の安全対策及び条件 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法 第4類 第三石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性

労働安全衛生法 (R8年4月1日より) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
(2-エチルー1-ヘキサノール)

大気汚染防止法 揮発性有機化合物(VOC)

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手出来る資料、情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱い及び本品の適正に関する決定は細心の注意をもって、使用者の責任において行なって下さい。

ここに記載されている情報は新しい危険性や有毒性の知見に基づき改訂されることがあります。